

「ボクシング：日本タイトル挑戦」のご紹介

校長 中村 成希

プロボクシング日本ミニマム級1位のプロボクサー「仲島 辰郎 (なかしま たつろう)」くんが、いよいよ日本タイトルに挑戦となります。沖縄タイムス（令和3年3月25日朝刊）に載っておりますのでご紹介します。【沖縄タイムス社提供】

沖 縄 タイム ス 2021年(令和3年) 3月25日 木曜日




平安山裕子

仲島辰郎

仲島、日本タイトル挑戦

ボクシング5月 平安山は女子王座決定戦

プロボクシング日本ミニマム級1位で那覇市出身の仲島辰郎(26)は、平仲BS(26)が5月22日、東京・墨田区総合体育館で同級王者の谷口将隆(27)とワタナベ(27)に挑戦することが決まった。またこの大会で、日本女子バンタム級3位の平安山裕子(33)は、平仲BS(26)と同級1位の谷山佳菜子(34)とワタナベ(27)と日本王者決定戦を行う。

初のタイトル挑戦となる仲島は「これまでのキャリアで一番の大舞台となる。緊張もあるけどうれしい」と話した。2019年12月の試合で拳を痛めたり、コロナ禍で試合が組めなかったりで1年5カ月ぶりの実戦となるが「この期間、体をメンテナンスしながら気持ちを持ち切らずに練習してきた。王者はサウスポーの技巧派だが、絶対に

ベルトを奪うという気持ちで戦う」と闘志を燃やした。

仲島の戦績は13戦11勝(7KO)1敗1分け、王者の谷口は16戦13勝(8KO)3敗で世界ボクシング機構(WBO)同級1位。元東洋太平洋バンタム級王者の平安山はキャリア12

年目。「他の格闘技経験が豊富な相手に、ボクシング一筋の私が負けるわけにいかない。1回からガンガン打って、絶対にベルトを取る」と勝利を誓った。

平安山の戦績は22戦8勝(2KO)10敗4分け、谷山は5戦3勝(1KO)1敗1分け。

